

評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 16 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0572609246号
法人名	カフシキガイシャ 株式会社 えがお
事業所名	シングウジ えがお神宮寺
所在地	大仙市神宮寺字上栗谷田67-5 (電話) 0187-72-4660

評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成20年10月22日

【情報提供票より】 (平成20年10月1日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 2 月 1 日
ユニット数	2 ユニット 利用定員数計 18 人
職員数	18 人 (常勤 14 人 非常勤 4 人 常勤換算 14.9 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	1 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有 (円) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有 (円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		900 円	

(4) 利用者の概要

利用者人数	17 名	男性 3 名	女性 14 名
要介護1	7 名	要介護2	2 名
要介護3	6 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83 歳	最低 69 歳	最高 92 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	神岡診療所・神岡歯科診療所・仙北組合総合病院
---------	------------------------

【外部評価で確認された事業所の特徴】

「地域と共に」の理念を掲げ、町内会に加入して総会や行事に参加し、町内のゴミ拾いを行うなど利用者及び職員が地域の一員として関わりを持ちながら安心して楽しく生活できるよう支援しており、児童館の鍵を預り管理するなど地域からの信頼を得ている。
 新人職員には採用時研修や個人指導制により継続的に教育するシステムで、全職員を対象に法人内の教育委員会で立てた年間計画に基づき毎月内部研修を開催しているほか、職員一人ひとりがケア目標を掲げ、それを評価しながら全体のレベルアップにつなげるなど職員の資質向上に力を入れている。
 また、ユニット毎の通信発行や広報委員会を組織して地域や関係者に対しても広報を発行し、事業所への理解と協力を得るため働きかけており、緊急連絡網に地域の方々に加わるなど緊急災害時における連携体制も充実させている。
 利用者はこれまでの経験等を生かして畑仕事や料理の手伝いなどを積極的に行い、遠出の外出や行事などには利用者間で「家族会議」を開いて意思疎通を図るなど、利用者の自主性を尊重した生活を支援している。
 さらには、看護師による24時間の対応や協力医による居宅療養管理指導など医療との連携が充実しており、看取りに関する指針を定めて利用者及び家族の意向に柔軟に対応している。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>前回評価での改善項目はないが、介護計画の変更内容を赤ペンで追記したり、カンファレンスにより改善策を検討しながら介護計画に反映させている。 また、トイレの目隠しのため暖簾を設置したが、利用者が引っ張るためトイレの中に設置するなど工夫している。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>評価の意義については研修会等で意識統一を図り、職員一人ひとりが自己評価を行ったうえでホームとしての評価をまとめている。 また、評価結果から課題を明らかにし、カンファレンスで改善策を話し合いサービスの向上につなげている。</p>
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	<p>会議では各種報告や職員の資質向上に関する事、防災訓練やボランティア受け入れなど、事業所の取り組みや具体的な改善課題について話し合い、地域の理解と支援を得るための貴重な機会としている。 また、緊急災害時における地域の協力体制について、委員である町内会長や婦人部長からの理解を求め、緊急連絡網に加わってもらうなど効果的な取り組みにつなげている。</p>
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	<p>毎月ユニット毎に写真付きで「たより」を発行し、面会時などにも生活の様子を知らせており、状態変化や受診時、ケア方針の希望確認時など必要な時に家族と連絡をとり意向等を確認している。 また、苦情受付体制を整備し、意見箱も設置して苦情等の把握に努めており、家族が面会に来ることなどで不安定になる方には面会時間と回数を調整するなど、家族の意向を確認しながら迅速に対応策を講じている。</p>
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	<p>町内会に加入して男性職員が地域の青年部に参加し、運動会や納涼祭など地域行事の際には準備を手伝い、運動会では利用者とともに楽しく参加しているほか、納涼祭では職員が「よさこい」やダンスを披露している。 また、利用者と一緒に町内のゴミ拾いをしたり、幼稚園や小中学校等との交流もあり、地域の一員として信頼されている。</p>

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「地域と共に」という基本理念のもと、その人らしく普通の生活が送れるよう、また、住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らせるように努めている。	○	今後も、全職員が理念を熟知し、理念に基づく運営ができるように、研修会やOJTしていく。	「地域と共に」という基本理念を掲げ、住み慣れた地域で、地域の一員として、その人らしく安心して笑顔で暮らせるよう支援に努めている。 また、理念に沿って地域との関わりも多くなっている。		
			「地域と共に」という基本理念のもと、その人らしく普通の生活が送れるよう、また、住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らせるように努めている。	○	今後も、全職員が理念を熟知し、理念に基づく運営ができるように、研修会やOJTしていく。			
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	採用時研修に、運営理念についての研修を設定している。また、理念を再確認できるように研修会を開催したり、個人やユニット毎の目標設定の際にも、理念をベースに目標を設定するよう意識的に取組んでいる。しかし、職員の理解度に格差がありまだ十分とは言えない。	○	今後も、研修会の開催や、目標設定時に理念を再確認できるような取り組みをしていく。	採用時研修や職員研修の中にメニューを取り入れ、理念を確認している。 また、理念を基にしてユニット毎に目標を掲げ、さらに職員一人ひとりでもケア目標を設定するなど意識的に取り組んでいる。		
			採用時研修に、運営理念についての研修を設定している。また、理念を再確認できるように研修会を開催したり、個人やユニット毎の目標設定の際にも、理念をベースに目標を設定するよう意識的に取組んでいる。しかし、職員の理解度に格差がありまだ十分とは言えない。	○	今後も、研修会の開催や、目標設定時に理念を再確認できるような取り組みをしていく。			
3	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	ご家族には理念について入居時に説明し、入居後も「えがおたより」の送信や家族会の開催等で伝えている。また、地域の方には、広報紙を発行したり、地域講演会を開催する等行っているが、まだ、十分とは言えない。	○	継続的な取り組みが必要であり、わかりやすく興味を持っていただけるような新たな取り組みを工夫をしていきたい。			
			ご家族には理念について入居時に説明し、入居後も「えがおたより」の送信や家族会の開催等で伝えている。また、地域の方には、広報紙を発行したり、地域講演会を開催する等行っているが、まだ、十分とは言えない。	○	継続的な取り組みが必要であり、わかりやすく興味を持			
2. 地域との支えあい								
4	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	地域の行事時や散歩時にご近所の方と会話やあいさつをしたり、立ち寄っていただけるようにお声掛けはしている。時折、自家栽培の野菜を届けていただいたりもする。以前よりは、ご近所の方との関わりが増えていると感じるが、気軽に立ち寄ってくれる方は少なく、十分にできているとは言いがたい。	○	継続的な取り組みが必要であり、散歩時や町内行事参加時に、ご近所さんと積極的に関わりを持っていきたい。			
			地域の行事時や散歩時にご近所の方と会話やあいさつをしたり、立ち寄っていただけるようにお声掛けはしている。時折、自家栽培の野菜を届けていただいたりもする。以前よりは、ご近所の方との関わりが増えていると感じるが、気軽に立ち寄ってくれる方は少なく、十分にできているとは言いがたい。	○	継続的な取り組みが必要であり、散歩時や町内行事参			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入会し、町内の総会や行事には、参加している。町内行事時は、準備の段階から職員を参加させてもらい、地域の一員として地域の方との交流を大事にしている。また、児童館の鍵を事業所で管理させてもらっている。	○	えがお神宮寺が地域の方々に「地域の一員」としてもっと認めていただけるように、地域住民としての役割を果たしながら、今後も積極的に関わりを持っていきたい。	町内会に入会しており、男性職員が地域の青年部に参加し、運動会や「ぼんでん」上げ、納涼祭などの地域行事には準備を手伝い、運動会当日は利用者とともに競技に参加している。 また、納涼祭では職員がよさこいやダンスを披露しているほか、利用者と一緒に町内のゴミ拾いをしたり、幼稚園や小中学校等との関わりも大切にしている。 さらには、野菜を届けてくれる方、お茶を飲み来る方もおり、24時間常人がいるため、地域から信頼され児童館の鍵を事業所で預り管理している。		
			町内会に入会し、町内の総会や行事には、参加している。町内行事時は、準備の段階から職員を参加させてもらい、地域の一員として地域の方との交流を大事にしている。また、児童館の鍵を事業所で管理させてもらっている。	○	えがお神宮寺が地域の方々に「地域の一員」としてもっと認めていただけるように、地域住民としての役割を果たしながら、今後も積極的に関わりを持っていきたい。			
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域住民向けに認知症の勉強会を開催したり、町内会長さんや婦人部会長さんを通して、地域で認知症介護等で困っている方がいる時には、気軽に相談していただけるように伝えている。しかし、実際はそのような相談が寄せられた事も少ない為、私たちの専門性についての認知度が低いように感じる。	○	私たちの専門性を活かして地域貢献が出来るように積極的に活動していきたい。私たちの専門性＝認知症介護という事も、あまり認知されていないように感じるため、広く知っていただけるように今後も、広報活動に取り組んでいきたい。	/		
			地域住民向けに認知症の勉強会を開催したり、町内会長さんや婦人部会長さんを通して、地域で認知症介護等で困っている方がいる時には、気軽に相談していただけるように伝えている。しかし、実際はそのような相談が寄せられた事も少ない為、私たちの専門性についての認知度が低いように感じる。	○	私たちの専門性を活かして地域貢献が出来るように積極的に活動していきたい。私たちの専門性＝認知症介護という事も、あまり認知されていないように感じるため、広く知っていただけるように今後も、広報活動に取り組んでいきたい。			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価を実施する意義について、研修会開催等にて意識統一を図っている。また、評価を活かした取り組みが出来るようにカンファレンスを開催し、改善策を話し合っているが、まだ職員の意識に格差があり十分とは言いがたい。	○	自己評価や外部評価の実施は、評価を活かしてサービスの質を向上させていく目的がある事を全職員が理解できるように、継続して学習する機会を設け取り組んでいきたい。	内部研修で自己評価の仕方を学ぶなど職員は評価の意義を理解しており、職員一人ひとりが自己評価を行ったうえでホームとしての自己評価をつくり上げている。 また、評価の結果を全体で話し合い、自ら課題を明らかにしてサービスの向上につなげている。		
			自己評価や外部評価を実施する意義について、研修会開催等にて意識統一を図っている。また、評価を活かした取り組みが出来るようにカンファレンスを開催し、改善策を話し合っているが、まだ職員の意識に格差があり十分とは言いがたい。	○	自己評価や外部評価の実施は、評価を活かしてサービスの質を向上させていく目的がある事を全職員が理解できるように、継続して学習する機会を設け取り組んでいきたい。			
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での話し合いは貴重な意見と捉え、会議の内容や意見として上がった事は、全職員に周知するようにしている。サービスの向上に活かすよう取り組んでいるが、十分にできているとは言いがたい。	○	運営推進会議以外で、第三者や外部の方から意見をいただく機会はそれほどないため、運営推進会議であがった意見を大事にし、それについて考える機会を随時作っていききたい。	運営推進会議では、各種報告や職員の資質向上に関する事、防災訓練やボランティア受け入れなど事業所の取り組みや具体的な改善課題について話し合い、地域の理解と支援を得るための貴重な機会としている。 また、会議の結果を職員間で共有し、効果的な事業所運営につなげている。		
			運営推進会議での話し合いは貴重な意見と捉え、会議の内容や意見として上がった事は、全職員に周知するようにしている。サービスの向上に活かすよう取り組んでいるが、十分にできているとは言いがたい。	○	運営推進会議以外で、第三者や外部の方から意見をいただく機会はそれほどないため、運営推進会議であがった意見を大事にし、それについて考える機会を随時作っていききたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
6	9	○市町村との連携	サービス情報提供と研修情報をあわせた「月間えがお」を毎月配信している。介護保険事務所や福祉事務所など限られたところとは、連絡がとれているが市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいるかという部分では、十分とは言いがたい。	○	質の高いサービスを提供していくうえで、情報交換や連絡を密にとれるように努力していきたい。また、どのような取り組みをすることが重要であるか再度考えていきたい。	○	法人全体の広報「月間えがお」を毎月届けて情報提供しているほか、副市長や介護保険事務所長、援護支援課職員が視察訪問して事業所について理解している。 また、必要に応じて地域包括支援センターに相談するなど関わりを持っている。	事業所地域包括支援センターのほか、行政担当職員とも普段から積極的に関わりを持ち、一緒になって事業所の効果的運営につなげてほしい。
		事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	サービス情報提供と研修情報をあわせた「月間えがお」を毎月配信している。介護保険事務所や福祉事務所など限られたところとは、連絡がとれているが市町村と共にサービスの質の向上に取り組んでいるかという部分では、十分とは言いがたい。	○	質の高いサービスを提供していくうえで、情報交換や連絡を密にとれるように努力していきたい。また、どのような取り組みをすることが重要であるか再度考えていきたい。			
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用	職員の意識統一の為、権利擁護について外部から講師を招き研修会を開催した。ご家族からの要請があり、成年後見制度手続きに必要な一部書類作成等の援助はしている。しかし、個々人に必要な制度活用が十分にできているかは再度確認する必要がある。	○	権利擁護事業や成年後見制度の利用が必要な方はいないか再度確認し、必要な方には援助が受けられるように支援していきたい。	○		
		管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員の意識統一の為、権利擁護について外部から講師を招き研修会を開催した。ご家族からの要請があり、成年後見制度手続きに必要な一部書類作成等の援助はしている。しかし、個々人に必要な制度活用が十分にできているかは再度確認する必要がある。	○	権利擁護事業や成年後見制度の利用が必要な方はいないか再度確認し、必要な方には援助が受けられるように支援していきたい。			
11		○虐待の防止の徹底	職員の意識統一の為、虐待について外部から講師を招き研修会を開催した。また、管理者は外部研修にも参加し、職員の言動や利用者さんの言動・表情から虐待が行われていないか確認している。	○	虐待防止や制度について、繰り返し職員が確認できる機会をつくっていき、未然に虐待を防ぐ取り組みをしていきたい。また、ご家族に対しても虐待につながる介護の仕方等について、アドバイスや情報提供ができるように援助していきたい。	○		
		管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員の意識統一の為、虐待について外部から講師を招き研修会を開催した。また、管理者は外部研修にも参加し、職員の言動や利用者さんの言動・表情から虐待が行われていないか確認している。	○	虐待防止や制度について、繰り返し職員が確認できる機会をつくっていき、未然に虐待を防ぐ取り組みをしていきたい。また、ご家族に対しても虐待につながる介護の仕方等について、アドバイスや情報提供ができるように援助していきたい。			
4. 理念を実践するための体制								
12		○契約に関する説明と納得	契約書や重要事項説明書に基づき、説明し同意を得ている。利用者さんやご家族の不安や疑問に対しては、理解・納得していただけるように説明する努力は行っている。ご本人に対しては理解力の問題から、全てを説明することは難しい場合もあり、ご本人の状態にあわせ困惑しないように説明をしている。しかし、十分とは言えない。	○	今後も、利用者さんに対してわかりやすい説明の工夫を考えていく。	○		
		契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書や重要事項説明書に基づき、説明し同意を得ている。利用者さんやご家族の不安や疑問に対しては、理解・納得していただけるように説明する努力は行っている。ご本人に対しては理解力の問題から、全てを説明することは難しい場合もあり、ご本人の状態にあわせ困惑しないように説明をしている。しかし、十分とは言えない。	○	今後も、利用者さんに対してわかりやすい説明の工夫を考えていく。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)		外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の設置や思いを遠慮なく言っていただけるような関係作りを心がけている。また、日々の関わりから、思いを汲み取るようにしている。利用者さん同士で話し合いする機会(会議)を設定し、ケアや生活についての希望等も聞くようにしている。苦情や要望に対しては、速やかに対応策を講じている。しかし、外部者に表出させる機会の設定等は、十分に行えていない。	○	遠慮なく意見・不満・苦情等を言っていただけるような機会の設定や場面を増やしていきたい。また、外部者にも伝えられる仕組みを考えていきたい。			
		ご意見箱の設置や思いを遠慮なく言っていただけるような関係作りを心がけている。また、日々の関わりから、思いを汲み取るようにしている。利用者さん同士で話し合いする機会(会議)を設定し、ケアや生活についての希望等も聞くようにしている。苦情や要望に対しては、速やかに対応策を講じている。しかし、外部者に表出させる機会の設定等は、十分に行えていない。	○	遠慮なく意見・不満・苦情等を言っていただけるような機会の設定や場面を増やしていきたい。また、外部者にも伝えられる仕組みを考えていきたい。			
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせて報告をしている	状態変化時・受診時・ケア方針の希望確認時等は、随時必要な時にご家族と連絡をとっている。また、毎月ホーム通信「えがおたより」の配信や写真をご家族に提供したり、面会時に暮らしぶりを報告している。金銭管理については、面会時にお小遣い帳を確認してもらっている。	○	面会が少ないご家族に対しても定期的に報告ができるように配慮していきたい。	○	ユニット毎に利用者の写真付きで「たより」を送付し、行事や日々の生活の写真を提供しているほか、面会時などにも生活の様子や金銭管理状況を知らせている。 また、面会に来れない方には1か月に1回は電話で連絡をとり、状態変化時や受診時、ケア方針の希望確認時などにも家族と連絡をとっている。
		状態変化時・受診時・ケア方針の希望確認時等は、随時必要な時にご家族と連絡をとっている。また、毎月ホーム通信「えがおたより」の配信や写真をご家族に提供したり、面会時に暮らしぶりを報告している。金銭管理については、面会時にお小遣い帳を確認してもらっている。	○	面会が少ないご家族に対しても定期的に報告ができるように配慮していきたい。			
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内の受け窓口や公的機関への連絡先を利用契約書や重要事項説明書に記しており、入居時に説明している。また、館内にご意見箱を設置している。苦情や要望等があった場合は、ご家族に確認をとりながら速やかに対応策を講じている。しかし、意見・不満・苦情を遠慮なく言っていただけるような取り組みや関わりがまだ十分とは言えない。	○	遠慮なく意見・不満・苦情等を言っていただけるような関係作りと、アンケートの実施等も検討していきたい。	○	苦情受付担当者や公的機関への連絡先を重要事項説明書等に明記し、利用契約時に説明しているほか、事業所内には意見箱を設置している。 また、苦情や要望等があれば迅速に対応策を講じ、回覧やカンファレンスを通じて共有している。 さらには、家族会の設置のほか家族とも定期的に面会し、意見等を言えるような関係づくりに努めている。
		事業所内の受け窓口や公的機関への連絡先を利用契約書や重要事項説明書に記しており、入居時に説明している。また、館内にご意見箱を設置している。苦情や要望等があった場合は、ご家族に確認をとりながら速やかに対応策を講じている。しかし、意見・不満・苦情を遠慮なく言っていただけるような取り組みや関わりがまだ十分とは言えない。	○	遠慮なく意見・不満・苦情等を言っていただけるような関係作りと、アンケートの実施等も検討していきたい。			
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週開催する管理者会議や、ユニットカンファレンス等にて、職員の意見や提案を聞く機会を設け反映するようにしている。	○	今後も、職員の意見や考えを確認し、質の向上につなげていきたい。			
		毎週開催する管理者会議や、ユニットカンファレンス等にて、職員の意見や提案を聞く機会を設け反映するようにしている。	○	今後も、職員の意見や考えを確認し、質の向上につなげていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整	行事や受診援助、また、利用者さんの状態に応じて勤務の調整を行っている。また、業務内容も必要に応じて変更している。しかし、職員の交代等にて、職員不足が生じたこともあり、勤務している職員に負担感を与えていることもある。	○	利用者さんを優先に考えた勤務調整は行っているが、職員の負担も考えながら、必要な時間に必要な数の職員が確保できるように調整していきたい。			
		利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事や受診援助、また、利用者さんの状態に応じて勤務の調整を行っている。また、業務内容も必要に応じて変更している。しかし、職員の交代等にて、職員不足が生じたこともあり、勤務している職員に負担感を与えていることもある。	○	利用者さんを優先に考えた勤務調整は行っているが、職員の負担も考えながら、必要な時間に必要な数の職員が確保できるように調整していきたい。			
9	18	○職員の異動等による影響への配慮	利用者さんやご家族に影響を与える事を考慮し、できるかぎり人事異動は行わない方針ではあるが、異動や離職により職員が変わる場合は、新人職員に対して、研修の実施やOJTにて利用者さんへの影響が最小限に抑えられるよう教育している。離職につながらない職員の労働条件の配慮等は十分とはいえない。	○	今後も、新人教育を十分に行い、利用者さんやご家族への影響が最小限となるようにしていきたい。離職につながらない、職員の労働条件等の配慮をできる限りしていきたい。	基本的には馴染みの職員で支援するため人事異動は行わない方針だが、昇格による異動や結婚等で退職することがわかれば事前に馴染みの関係づくりに努めている。 また、新人職員に対しては中堅職員が教育しながら利用者との馴染みの関係をつくり、利用者への影響を最小限に抑えている。		
		運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者さんやご家族に影響を与える事を考慮し、できるかぎり人事異動は行わない方針ではあるが、異動や離職により職員が変わる場合は、新人職員に対して、研修の実施やOJTにて利用者さんへの影響が最小限に抑えられるよう教育している。離職につながらない職員の労働条件の配慮等は十分とはいえない。	○	今後も、新人教育を十分に行い、利用者さんやご家族への影響が最小限となるようにしていきたい。離職につながらない、職員の労働条件等の配慮をできる限りしていきたい。			
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み	職員採用時は、カリキュラムに基づき研修を行っている。プリセプター制にて、新人職員を教育するシステムをとっている。また、全職員に対しての内部研修は教育委員会を組織し、年間計画に基づき毎月勉強会を開催している。また、外部から専門的分野の講師や大学教授等を招き勉強会を開催している。外部研修は、職員の能力や希望に応じて参加している。	○	継続的なフォローアップが出来るように、また、個人の能力に応じた指導や動機付けを行えるようにしていきたい。	新人職員には採用時研修や個人指導制で継続的に教育しており、法人内に教育委員会を組織して内部研修計画を立て、月2回の研修会を実施している。 また、外部からも講師を招き勉強会を開催しており、外部研修には職員の能力や希望に応じて参加している。 さらには、職員一人ひとりがケア目標を立て、半年ごとに評価しながら質の向上に努めている。	○	職員一人ひとりの目標を設定していることから、それを活用して内部研修のほか、外部研修についても経験や職種、希望や評価に応じてスキルアップのための研修計画を立て、段階的に質を向上させていくよう効果的な仕組みづくりを工夫してほしい。
		運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員採用時は、カリキュラムに基づき研修を行っている。プリセプター制にて、新人職員を教育するシステムをとっている。また、全職員に対しての内部研修は教育委員会を組織し、年間計画に基づき毎月勉強会を開催している。また、外部から専門的分野の講師や大学教授等を招き勉強会を開催している。外部研修は、職員の能力や希望に応じて参加している。	○	継続的なフォローアップが出来るように、また、個人の能力に応じた指導や動機付けを行えるようにしていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
11	20	○同業者との交流を通じた向上	県や大曲仙北地域のグループホーム連絡会に入会し、同業者との交流や情報交換、勉強会等を行っている。しかし、管理者や一部の職員しか参加できていないこともあり、サービスの質の向上を目指す為に、もっと積極的な関わりが持てるように努力していきたい。	○	他のグループホームの見学、職員同士の意見・情報交換等を行う機会を増やし、積極的に関わっていききたい。	県組織や大曲仙北地域の連絡協議会の研修等を通じても交流を図っているほか、全国やブロック段階でも交流し、情報収集に努めている。 また、法人内の事業所とのネットワークづくりや部門ごとの研修会を行い、サービスの質の向上に努めている。	○	法人内の事業所のみでなく、圏域など他事業所とのネットワークづくりに努め、地域全体のレベルアップにつなげてほしい。
		運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県や大曲仙北地域のグループホーム連絡会に入会し、同業者との交流や情報交換、勉強会等を行っている。しかし、管理者や一部の職員しか参加できていないこともあり、サービスの質の向上を目指す為に、もっと積極的な関わりが持てるように努力していきたい。	○	他のグループホームの見学、職員同士の意見・情報交換等を行う機会を増やし、積極的に関わっていききたい。			
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み	職員のメンタルヘルスについて外部から講師を招き研修会を開催した。定期的に個別面談を行う際には悩みやストレスについても確認をしている。また、職員の親睦会も立ち上げ、年に数回、行事を企画している。しかし、勤務中の休憩時間の確保が難しく十分にとれていない。	○	今後も、勉強会の開催や個別面談にて悩みやストレスの確認を行っていききたい。また、改善に向けて業務内容の見直しや休憩時間をできる限り確保できるように検討していきたい。			
		運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員のメンタルヘルスについて外部から講師を招き研修会を開催した。定期的に個別面談を行う際には悩みやストレスについても確認をしている。また、職員の親睦会も立ち上げ、年に数回、行事を企画している。しかし、勤務中の休憩時間の確保が難しく十分にとれていない。	○	今後も、勉強会の開催や個別面談にて悩みやストレスの確認を行っていききたい。また、改善に向けて業務内容の見直しや休憩時間をできる限り確保できるように検討していきたい。			
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み	個人の目標を設定してもらい、目標達成にむけて向上心を持って取組めるように必要な研修への参加や、読書手当の支給等を行っている。月2回の社内研修の設定にて、学べる環境の整備をしている。	○	職員の要望を取り入れた取り組みが出来るようにアンケート等を行い確認していきたい。			
		運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	個人の目標を設定してもらい、目標達成にむけて向上心を持って取組めるように必要な研修への参加や、読書手当の支給等を行っている。月2回の社内研修の設定にて、学べる環境の整備をしている。	○	職員の要望を取り入れた取り組みが出来るようにアンケート等を行い確認していきたい。			
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
23		○初期に築く本人との信頼関係	利用申し込み後、ご本人と面談し希望を聴取している。その後は、電話でのやりとりがほとんどである。相談から利用までの間に、何度か面談できればよいが、たいいていは一回しか面談できておらず十分とは言えない。	○	個々人の状態や状況にあわせ、面談の回数等も増やし信頼関係を築いていきたい。			
		相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用申し込み後、ご本人と面談し希望を聴取している。その後は、電話でのやりとりがほとんどである。相談から利用までの間に、何度か面談できればよいが、たいいていは一回しか面談できておらず十分とは言えない。	○	個々人の状態や状況にあわせ、面談の回数等も増やし信頼関係を築いていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族から希望を聴取し、入居までの間に何度か連絡を取り合うように努めているが、十分にできていないと言えない。	○	個々人の状態や状況にあわせ、こまめに希望等の確認をしていくことで、信頼関係を築いていきたい。				
		ご家族から希望を聴取し、入居までの間に何度か連絡を取り合うように努めているが、十分にできていないと言えない。	○	個々人の状態や状況にあわせ、こまめに希望等の確認をしていくことで、信頼関係を築いていきたい。				
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要な支援を利用できるように、また、選択肢が広がるように、希望や利用者さんの状況に応じて、他のサービス内容について説明や紹介をしている。担当ケアマネージャーとの連携も密に行うように努めている。しかし、十分にできていない。	○	より適切な対応が出来るように、他サービスについて特徴やサービス内容の理解を深めていきたい。				
		必要な支援を利用できるように、また、選択肢が広がるように、希望や利用者さんの状況に応じて、他のサービス内容について説明や紹介をしている。担当ケアマネージャーとの連携も密に行うように努めている。しかし、十分にできていない。	○	より適切な対応が出来るように、他サービスについて特徴やサービス内容の理解を深めていきたい。				
12 26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	ご本人が納得した上で入居していただけるように、入居者さんの状況に応じて、入居前にお茶を飲みに来ていただいたり、試験的に泊まりをしていただくような対応をしている。ご本人ができる限り違和感なく馴染めるように、ご本人が好む関わり方等も、ご家族から伺いながら実践している。しかし、場合によっては、入居を急いでいる方もおり、十分にできない場合もある。	○	安心し、納得された上で入居していただけるように、今後も個々人の状況に応じて、必要な援助をしていきたい。ご家族には、その必要性を説明し理解していただけるように取組んでいきたい。	利用の相談があれば十分に話し合い、見学や遊びに来てもらうほか、必要最小限の物を持って試験的に泊まってもらうなど、できる限り違和感なく利用してもらえるよう柔軟に対応している。			
		ご本人が納得した上で入居していただけるように、入居者さんの状況に応じて、入居前にお茶を飲みに来ていただいたり、試験的に泊まりをしていただくような対応をしている。ご本人ができる限り違和感なく馴染めるように、ご本人が好む関わり方等も、ご家族から伺いながら実践している。しかし、場合によっては、入居を急いでいる方もおり、十分にできない場合もある。	○	安心し、納得された上で入居していただけるように、今後も個々人の状況に応じて、必要な援助をしていきたい。ご家族には、その必要性を説明し理解していただけるように取組んでいきたい。				
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援								
13 27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	調理や畑作業等、利用者さんに教えていただきながら、一緒に活動し生活するよう努めている。一方的なケアではなく、同じ家に住む者同士、共に支えあう関係を築けるように努めているが、職員の意識や力量に格差があり、まだ十分にできていないと言えない。	○	一方的なケアではなく、「ケアされるケア、一緒にのケア」を実践していけるように、継続的に研修会やOJTにて、職員の意識統一やレベルアップを図りたい。	日々の生活の中で、利用者の思いや喜怒哀楽に関心をよせ、利用者の得意分野である調理の仕方や畑仕事、地域の歴史や生活の技などを学びながら共に活動する場面を多く持ち、協働して穏やかに生活できる関係づくりに努めている。			
		調理や畑作業等、利用者さんに教えていただきながら、一緒に活動し生活するよう努めている。一方的なケアではなく、同じ家に住む者同士、共に支えあう関係を築けるように努めているが、職員の意識や力量に格差があり、まだ十分にできていないと言えない。	○	一方的なケアではなく、「ケアされるケア、一緒にのケア」を実践していけるように、継続的に研修会やOJTにて、職員の意識統一やレベルアップを図りたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
28	職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	○本人を共に支えあう家族との関係	ご家族の負担にならない程度に、外泊・外出・面会・電話等にて関わりが継続できるように援助している。しかし、ご家族も高齢だったり、遠方に住まれている等の都合によって、ご本人が望むご家族との関わりが十分にできていない方もいる。	○	ご家族が、自然な形でご本人に関わりが持てるように、ご家族の状況に応じた対応や、関わり方についてご家族にアドバイスできるように努めていく。直接面会できない方については、電話等にて連絡が取れるように援助していきたい。			
		ご家族の負担にならない程度に、外泊・外出・面会・電話等にて関わりが継続できるように援助している。しかし、ご家族も高齢だったり、遠方に住まれている等の都合によって、ご本人が望むご家族との関わりが十分にできていない方もいる。	○	ご家族が、自然な形でご本人に関わりが持てるように、ご家族の状況に応じた対応や、関わり方についてご家族にアドバイスできるように努めていく。直接面会できない方については、電話等にて連絡が取れるように援助していきたい。				
29	これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援	ご本人・ご家族のこれまでの関係や心理を理解し、個々人の状況に合わせて、より良い関係が築けるように援助している。また、ご家族の心理とご家族との関わりについて研修会を開催し、職員の意識統一を図っているが、まだ、職員の意識に格差があり十分とは言えない。	○	ご本人やご家族がこれまでに築いてきた関係を理解し、関係の維持や関係の修復等の援助が行えるように、職員の意識統一とレベルアップを図っていききたい。			
		ご本人・ご家族のこれまでの関係や心理を理解し、個々人の状況に合わせて、より良い関係が築けるように援助している。また、ご家族の心理とご家族との関わりについて研修会を開催し、職員の意識統一を図っているが、まだ、職員の意識に格差があり十分とは言えない。	○	ご本人やご家族がこれまでに築いてきた関係を理解し、関係の維持や関係の修復等の援助が行えるように、職員の意識統一とレベルアップを図っていききたい。				
30	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	○馴染みの人や場との関係継続の支援	アセスメントを行い馴染みの方との面会や思い出のある場所・馴染みの場所に出掛ける等の援助を行っている。しかし、遠方の場合には困難な場合もあり、ご家族とも協力して援助していけるように努めたい。	○	ご本人が大切にしてきた関わりを、継続していけるように、ご家族の協力も得ながら援助していきたい。また、折に触れご本人の望む関わりを確認していきたい。			
		アセスメントを行い馴染みの方との面会や思い出のある場所・馴染みの場所に出掛ける等の援助を行っている。しかし、遠方の場合には困難な場合もあり、ご家族とも協力して援助していけるように努めたい。	○	ご本人が大切にしてきた関わりを、継続していけるように、ご家族の協力も得ながら援助していきたい。また、折に触れご本人の望む関わりを確認していきたい。				
31	利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	○利用者同士の関係の支援	利用者さん同士が、お互いに協力し合い作業を行ったり、仲の良い方同士、散歩や買い物に出掛けたりされている。様々な人間関係があり、関わりを援助・仲介している。	○	個々人の性格や利用者さん同士の人間関係もあり、適度に仲介が必要であるため、職員の関わり方を勉強会やOJTにてレベルアップしていきたい。			
		利用者さん同士が、お互いに協力し合い作業を行ったり、仲の良い方同士、散歩や買い物に出掛けたりされている。様々な人間関係があり、関わりを援助・仲介している。	○	個々人の性格や利用者さん同士の人間関係もあり、適度に仲介が必要であるため、職員の関わり方を勉強会やOJTにてレベルアップしていきたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
	32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去後についても、いつでも気軽に相談していただけるように、ご家族にお伝えしている。退去先への情報提供や、ご家族の悩みを聞く等、できる限りのことは行っているが、こちらからの積極的な関わりは少ないと思われる。	○	退去後も、継続的なケアを受け安心して生活できるように、今後も関係機関やご家族・ご本人との関わりを継続していきたい。			
			退去後についても、いつでも気軽に相談していただけるように、ご家族にお伝えしている。退去先への情報提供や、ご家族の悩みを聞く等、できる限りのことは行っているが、こちらからの積極的な関わりは少ないと思われる。	○	退去後も、継続的なケアを受け安心して生活できるように、今後も関係機関やご家族・ご本人との関わりを継続していきたい。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント								
1. 一人ひとりの把握								
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	何気ない普段の会話の中での聴取やご家族からの情報収集、また、ご本人の言動を観察するなどし、ご本人の望む暮らしや意向の把握に努めている。また、意思伝達がうまく出来ない方についても、ご本人の立場に立って把握するよう努めている。しかし、職員の力量に格差あり十分とは言えない。	○	入居者とコミュニケーションを十分に図り、会話の中で意識的に希望を引き出しアセスメントできるように今後も職員教育していく。			アセスメントシートにセンター方式を取り入れ、利用者一人ひとりの思いや希望等の情報を詳細に把握、共有しており、日常生活の中でも意向を把握するよう努めている。 また、遠出の外出や地域の行事参加などの際は、利用者間で「家族会議」を開いて決定している。 さらには、意思疎通が困難な方でも役割や意志を持って行動できるよう模造紙に話し合った内容を書き出すなど、段階的に支援している。
			何気ない普段の会話の中での聴取やご家族からの情報収集、また、ご本人の言動を観察するなどし、ご本人の望む暮らしや意向の把握に努めている。また、意思伝達がうまく出来ない方についても、ご本人の立場に立って把握するよう努めている。しかし、職員の力量に格差あり十分とは言えない。	○	入居者とコミュニケーションを十分に図り、会話の中で意識的に希望を引き出しアセスメントできるように今後も職員教育していく。			
	34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に、ご本人やご家族から、これまでの暮らしについて聴取している。また、事前にご家族に記録用紙をお渡しして記入してもらっている。入居後は、随時必要な情報が聴けた時に、記録に追加している。	○	今後も、十分にアセスメントできるように聴取の工夫や、記録用紙の検討等を考えていきたい。また、職員のレベルアップのため継続的に研修会を開催していきたい。			
			入居時に、ご本人やご家族から、これまでの暮らしについて聴取している。また、事前にご家族に記録用紙をお渡しして記入してもらっている。入居後は、随時必要な情報が聴けた時に、記録に追加している。	○	今後も、十分にアセスメントできるように聴取の工夫や、記録用紙の検討等を考えていきたい。また、職員のレベルアップのため継続的に研修会を開催していきたい。			
	35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の過ごし方や、心身状態、ご本人の能力等、職員が情報を共有できるように記録に残し、総合的に把握するよう努めている。	○	一部の場面や状態だけではなく、その方の状態を総合して把握できるように記録の整備等を再度検討していきたい。			
			日々の過ごし方や、心身状態、ご本人の能力等、職員が情報を共有できるように記録に残し、総合的に把握するよう努めている。	○	一部の場面や状態だけではなく、その方の状態を総合して把握できるように記録の整備等を再度検討していきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人やご家族の希望を聴取し、また、介護職員・医師・看護師等、関係者からの意見やアイデアをまとめて介護計画を作成するよう努めている。しかし、十分とは言いがたい。	○	個々人がより良く暮らしていけるよう、偏った判断や見方にならないよう、関係者からの意見やアイデアを十分に引き出し介護計画を作成していきたい。	利用者が生活するうえでの課題やケアのあり方について、利用者及び家族、関係者の気づきや意見、アイデアを出し合い、個別の介護計画を作成している。 また、利用後も定期的にサービス担当者会議を開催し、サービス利用の実施状況を確認、評価しながらより具体的な介護計画作成につなげている。		
			ご本人やご家族の希望を聴取し、また、介護職員・医師・看護師等、関係者からの意見やアイデアをまとめて介護計画を作成するよう努めている。しかし、十分とは言いがたい。	○	個々人がより良く暮らしていけるよう、偏った判断や見方にならないよう、関係者からの意見やアイデアを十分に引き出し介護計画を作成していきたい。			
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画期間(3ヶ月)に応じての見直し、1ヶ月毎にモニタリングを行っている。また、見直し前でも状態に応じてケアの変更や追加は行っているが、期間前の計画書の作り直しは十分にできているとは言えない。	○	見直し時期前の計画書の作り直しも随時十分に行えるように努めていきたい。	3か月毎の評価と見直し、1か月毎のモニタリングのほか、必要に応じて期間にとらわれず臨機応変に計画を見直している。 また、介護計画に記載するまでもない細かな変更内容については、日々の管理日誌の申し送り部分に達成するまで記載し、確実に伝達するよう工夫している。		
			介護計画期間(3ヶ月)に応じての見直し、1ヶ月毎にモニタリングを行っている。また、見直し前でも状態に応じてケアの変更や追加は行っているが、期間前の計画書の作り直しは十分にできているとは言えない。	○	見直し時期前の計画書の作り直しも随時十分に行えるように努めていきたい。			
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録にケアの実践や気づき、ご本人からの訴えや言動等を、できる限り詳細に記録するように努め、職員が情報を共有できるようにしている。モニタリング時や介護計画の見直しに活かしている。	○	必要な情報をきちんと記録として残せるように、今後も、記録の意義や必要性の研修会を開催し職員のレベルアップを図っていききたい。また、記録や情報が、介護の実践や計画書の見直しに活かせるような仕組みをもっと工夫していききたい。			
			介護記録にケアの実践や気づき、ご本人からの訴えや言動等を、できる限り詳細に記録するように努め、職員が情報を共有できるようにしている。モニタリング時や介護計画の見直しに活かしている。	○	必要な情報をきちんと記録として残せるように、今後も、記録の意義や必要性の研修会を開催し職員のレベルアップを図っていききたい。また、記録や情報が、介護の実践や計画書の見直しに活かせるような仕組みをもっと工夫していききたい。			
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人やご家族の心身の状態や要望を把握し、柔軟な対応が出来るように、勤務の調整を行い必要な時間帯に職員が確保できるように努めている。	○	今後も、要望を確認しながら、事業所でできる範囲以内のことは、援助できるように努めていきたい。	利用者及び家族の状況や意向に柔軟に対応できるよう管理者が職員の不足を補い、勤務調整を行いながら定期的な受診介助などを支援している。 また、24時間対応が可能な看護師を確保しているほか、居宅療養管理指導など医療との連携が充実している。		
			ご本人やご家族の心身の状態や要望を把握し、柔軟な対応が出来るように、勤務の調整を行い必要な時間帯に職員が確保できるように努めている。	○	今後も、要望を確認しながら、事業所でできる範囲以内のことは、援助できるように努めていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	地域の幼稚園や学校との交流や、歌・踊り・大正琴のボランティア、町内会との交流等、地域の方々の協力をもらっている。また、消防署には避難訓練時に立会いをしてもらっている。交番には利用者さんの一般的な特徴を説明し、何かあった場合に協力してもらえるようお願いしている。	○	地域の資源を上手に利用させていただき、利用者さんが地域で安心して楽しく生活できるように支援していきたい。地域資源を把握できていない部分もあるため、様々な関わりを発掘していきたい。				
		地域の幼稚園や学校との交流や、歌・踊り・大正琴のボランティア、町内会との交流等、地域の方々の協力をもらっている。また、消防署には避難訓練時に立会いをもらっている。交番には利用者さんの一般的な特徴を説明し、何かあった場合に協力してもらえるようお願いしている。	○	地域の資源を上手に利用させていただき、利用者さんが地域で安心して楽しく生活できるように支援していきたい。地域資源を把握できていない部分もあるため、様々な関わりを発掘していきたい。				
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他のサービス希望時は、関係者と連携をとりご本人の意向に沿って支援している。	○	今後も、意向を確認しながら、ご本人が望む生活ができるように関係者と連絡調整を行っていききたい。				
		他のサービス希望時は、関係者と連携をとりご本人の意向に沿って支援している。	○	今後も、意向を確認しながら、ご本人が望む生活ができるように関係者と連絡調整を行っていききたい。				
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要時は連絡を取り合っているが、現在はあまり相談するような事例がない。	○	利用者さんに関わることばかりではなく、在宅介護者からの相談などが寄せられた場合にも、必要に応じて地域包括支援センターにつなげて協働していきたい。				
		必要時は連絡を取り合っているが、現在はあまり相談するような事例がない。	○	利用者さんに関わることばかりではなく、在宅介護者からの相談などが寄せられた場合にも、必要に応じて地域包括支援センターにつなげて協働していきたい。				
18 43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を確認し、契約した上でホームドクターが居宅療養管理指導を行っている。また、かかりつけ薬局やかかりつけ歯科医とも、必要な時に必要な援助が受けられるように連携を図っている。	○	今後も、ご本人やご家族の希望を確認しながら、より良い援助が受けられるように、関係医療機関と密に連絡をとっていききたい。				利用者及び家族の意向を確認したうえで協力医による年1回の健康診断と月2回の居宅療養管理指導を行っている。 また、歯科医による飲み込みの指導や薬剤師による薬の飲み方や効能、副作用についての勉強会の開催、薬の一包化など必要時に連携できている。
		ご本人やご家族の希望を確認し、契約した上でホームドクターが居宅療養管理指導を行っている。また、かかりつけ薬局やかかりつけ歯科医とも、必要な時に必要な援助が受けられるように連携を図っている。	○	今後も、ご本人やご家族の希望を確認しながら、より良い援助が受けられるように、関係医療機関と密に連絡をとっていききたい。				
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症に関する診断や治療は専門医で受けられるよう、認知症症状に変化が見られる方については、かかりつけ医と相談の上、専門医を受診している。また、定期的受診の援助も行っている。	○	今後も、個人の状態にあわせ治療が受けられるように専門医と連携をとっていききたい。				
		認知症に関する診断や治療は専門医で受けられるよう、認知症症状に変化が見られる方については、かかりつけ医と相談の上、専門医を受診している。また、定期的受診の援助も行っている。	○	今後も、個人の状態にあわせ治療が受けられるように専門医と連携をとっていききたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師（非常勤）が、週に1度、健康状態を確認し、日常的な健康管理を行っている。急変時や体調不良時は、随時連絡をとりあっている。また、かかりつけ医の担当看護師とも連絡をとりあい、継続的な健康管理に努めている。	○	看護職と連携を密にとり、健康管理や介護職ができない医療行為の援助等を必要に応じておこなっていく。				
		看護師（非常勤）が、週に1度、健康状態を確認し、日常的な健康管理を行っている。急変時や体調不良時は、随時連絡をとりあっている。また、かかりつけ医の担当看護師とも連絡をとりあい、継続的な健康管理に努めている。	○	看護職と連携を密にとり、健康管理や介護職ができない医療行為の援助等を必要に応じておこなっていく。				
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	ご本人が安心できる関わりについて、病院関係者に情報を提供している。また、入院時から退院に向けた調整や退院後必要な援助について病院関係者と情報交換をしている。	○	今後も、早期退院に向けた調整や退院後の援助について、医療機関と密に情報を交換していきたい。				
		ご本人が安心できる関わりについて、病院関係者に情報を提供している。また、入院時から退院に向けた調整や退院後必要な援助について病院関係者と情報交換をしている。	○	今後も、早期退院に向けた調整や退院後の援助について、医療機関と密に情報を交換していきたい。				
19 47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所の「看取りに関する指針」に基づき、重度化・終末期のような状態が考えられる場合はご家族やかかりつけ医等と、密に連絡をとりあい、段階的に繰り返し話し合いをして方針を決めている。	○	今後も、状態の変化に応じて、段階的に話し合いをしていき、ご本人にとって一番良い方法や方針を検討していきたい。	事業所としての「看取りに関する指針」を明確にし、利用者及び家族と相談しながら重度期、終末期の対応方針の共有化に努めている。 なお、利用者の大半が重度化した場合の他施設への申し込みを済ませており、健康状態を確認しながら段階的に医療関係者等と話し合いながら支援している。			
		事業所の「看取りに関する指針」に基づき、重度化・終末期のような状態が考えられる場合はご家族やかかりつけ医等と、密に連絡をとりあい、段階的に繰り返し話し合いをして方針を決めている。	○	今後も、状態の変化に応じて、段階的に話し合いをしていき、ご本人にとって一番良い方法や方針を検討していきたい。				
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	「看取りに関する指針」に基づき、ご本人やご家族のご希望やご意見を最大限尊重しながら、医師・看護師・職員で連携して支援するように努めている。しかし、事業所で、できる限界についても説明し、必要な場合は入院等の検討を行っている。	○	事業所だけの力では、終末期ケアを行うのは困難であるため、ご家族も含めたチームで支援できるような体制作りを強化していきたい。また、終末期の支援について、職員の知識の向上も図っていきたい。				
		「看取りに関する指針」に基づき、ご本人やご家族のご希望やご意見を最大限尊重しながら、医師・看護師・職員で連携して支援するように努めている。しかし、事業所で、できる限界についても説明し、必要な場合は入院等の検討を行っている。	○	事業所だけの力では、終末期ケアを行うのは困難であるため、ご家族も含めたチームで支援できるような体制作りを強化していきたい。また、終末期の支援について、職員の知識の向上も図っていきたい。				
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	移り替えによるダメージが最小限となるよう、移り住む次の場所の関係者に情報提供しケアの仕方や関わり方等を引き継いでいる。	○	今後も、退所後に関係者と連絡をとり、ケアの引継ぎを十分に行っていただきたい。				
		移り替えによるダメージが最小限となるよう、移り住む次の場所の関係者に情報提供しケアの仕方や関わり方等を引き継いでいる。	○	今後も、退所後に関係者と連絡をとり、ケアの引継ぎを十分に行っていただきたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援								
1. その人らしい暮らしの支援								
(1) 一人ひとりの尊重								
20	50	○プライバシーの確保の徹底	個々人の人格を尊重し、ご本人の能力に応じた言葉かけや対応を行うようにしている。採用時研修にも組み入れ意識統一を図っている。しかし、職員の意識や能力に格差あり、まだ改善の必要がある。	○	勉強会やOJTにて継続的に職員教育を行い、プライバシー保護を徹底できるようにしたい。	採用時研修に個人情報の取り扱いやプライバシー確保についての基本の心得を組み入れており、日常的な言葉かけなどにより利用者を傷つけたり、プライバシーを損なわないよう常に職員間で注意し合い、職員会議等で具体的に話し合っている。 また、個人情報の取り扱いに関して、その都度説明のうえ同意を得ており、広報への写真掲載についても事前に了解を得ている。		
		一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個々人の人格を尊重し、ご本人の能力に応じた言葉かけや対応を行うようにしている。採用時研修にも組み入れ意識統一を図っている。しかし、職員の意識や能力に格差あり、まだ改善の必要がある。	○	勉強会やOJTにて継続的に職員教育を行い、プライバシー保護を徹底できるようにしたい。			
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援	個別の関わりを多く持てるよう努め、個々に合わせ方言や親しみやすい言葉で説明するようにしている。また、自己決定できるよう能力に合わせ選択してもらう方法をとっているが、職員の力量に格差あり、まだ十分にできているとは言えない。	○	個々人の能力を把握し、状態に応じた対応が出来るように研修やOJTにて職員のレベルアップを図りたい。			
		本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個別の関わりを多く持てるよう努め、個々に合わせ方言や親しみやすい言葉で説明するようにしている。また、自己決定できるよう能力に合わせ選択してもらう方法をとっているが、職員の力量に格差あり、まだ十分にできているとは言えない。	○	個々人の能力を把握し、状態に応じた対応が出来るように研修やOJTにて職員のレベルアップを図りたい。			
21	52	○日々のその人らしい暮らし	職員側の都合やペースで業務を進めることがないよう努めている。入居者さん主体の生活を考え、個々に合わせたその人らしい暮らしが出来るように希望の確認や、それに合わせ業務の変更等を行っている。しかし、全員に対して十分にできているとは言いがたい。	○	個々人のペースを把握し、無理なくその人らしい生活の援助ができるように、職員の意識統一を図っていききたい。	基本的な一日の流れはあるが、散歩に行きたくない方や入浴、行事への参加など一人ひとりの状態や思いに配慮しており、食事を居室に運び、亡くなった奥さんの写真と一緒に食べる方や、畑仕事を見るだけで満足する方など、その方の意向を尊重している。 また、普段から利用者のペースや望むことを把握するよう努め、利用者主体の個性のある生活の実現に向けて工夫、支援している。		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合やペースで業務を進めることがないよう努めている。入居者さん主体の生活を考え、個々に合わせたその人らしい暮らしが出来るように希望の確認や、それに合わせ業務の変更等を行っている。しかし、全員に対して十分にできているとは言いがたい。	○	個々人のペースを把握し、無理なくその人らしい生活の援助ができるように、職員の意識統一を図っていききたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援									
53	○身だしなみやおしゃれの支援	その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族にも協力していただき、好みの衣服や化粧品等の準備をお願いしている。理美容院は、地域に数件あり、ご本人の希望や行きつけのお店に出かけられるように援助している。また、希望があれば白髪染めの援助も行っている。	○	一人で服を選べない方に対しては、職員が付き添いできる限りご本人の好みの物が着用できるように援助していきたい。				
			ご家族にも協力していただき、好みの衣服や化粧品等の準備をお願いしている。理美容院は、地域に数件あり、ご本人の希望や行きつけのお店に出かけられるように援助している。また、希望があれば白髪染めの援助も行っている。	○	一人で服を選べない方に対しては、職員が付き添いできる限りご本人の好みの物が着用できるように援助していきたい。				
22	54	○食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物時に食べたい物をうかがったり、季節の食材や自家農園の野菜を使った献立作りを心がけている。また、能力に応じて調理や片付けに参画してもらっている。しかし、一人ひとりの好みを聞き、平等に提供できているとは言いがたい。	○	買い物や調理にあまり参加されない方の意見や好みも、聴取できるよう努めていきたい。	食事の買い物には利用者と一緒に出かけ、利用者の食べたい物や旬の食材、畑で収穫した野菜を献立に反映させている。 また、「だまこ」を利用者が丸めるなど、調理や片付けに至るまで利用者とともにいき、同じテーブルで同じ物を一緒に楽しく食べることで自然で穏やかな雰囲気づくりに努めている。		
				買い物時に食べたい物をうかがったり、季節の食材や自家農園の野菜を使った献立作りを心がけている。また、能力に応じて調理や片付けに参画してもらっている。しかし、一人ひとりの好みを聞き、平等に提供できているとは言いがたい。	○	買い物や調理にあまり参加されない方の意見や好みも、聴取できるよう努めていきたい。			
55	○本人の嗜好の支援	本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好の確認はしているが、たばこやお酒は医師やご家族から止められている方もおり、積極的な援助は行えていない。おやつやお酒以外の飲み物は、希望を確認し提供しているが、毎日ではない。	○	医師からの制限があるものは支援することが困難であるが、それ以外の嗜好を楽しむ援助ができるように検討していきたい。				
			嗜好の確認はしているが、たばこやお酒は医師やご家族から止められている方もおり、積極的な援助は行えていない。おやつやお酒以外の飲み物は、希望を確認し提供しているが、毎日ではない。	○	医師からの制限があるものは支援することが困難であるが、それ以外の嗜好を楽しむ援助ができるように検討していきたい。				
56	○気持よい排泄の支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう「尊厳の保持」に配慮して支援している	排泄チェック表にて個々人の排泄パターンを確認し、サインや残存能力に応じた個別の援助ができるよう努めている。また、誘導時の声掛け、失禁時の対応等、羞恥心やプライバシーに配慮した援助ができるよう、職員教育している。	○	今後も、個人の能力に応じた援助や、羞恥心やプライバシーに配慮した援助が常に行えるように、職員の意識統一を図っていきたい。				
			排泄チェック表にて個々人の排泄パターンを確認し、サインや残存能力に応じた個別の援助ができるよう努めている。また、誘導時の声掛け、失禁時の対応等、羞恥心やプライバシーに配慮した援助ができるよう、職員教育している。	○	今後も、個人の能力に応じた援助や、羞恥心やプライバシーに配慮した援助が常に行えるように、職員の意識統一を図っていきたい。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
23	57	○入浴を楽しむことができる支援	毎日入浴可能な体制をとっている。バイタルや健康状態を確認しながら入浴の見極めをしている。できる限りご本人が入浴したい時間帯に入っているように入床前の入浴も援助している。また、できる限り、同姓介助を行うように努めている。しかし、ご本人の意思を確認し、もっとプライバシーに配慮していく必要がある。	○	ご本人が望む入浴の仕方を確認し、羞恥心やプライバシーに配慮した援助が常にできるように、職員の意識統一を図っていききたい。			
		曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴可能な体制をとっている。バイタルや健康状態を確認しながら入浴の見極めをしている。できる限りご本人が入浴したい時間帯に入っているように努めている。しかし、ご本人の意思を確認し、もっとプライバシーに配慮していく必要がある。	○	ご本人が望む入浴の仕方を確認し、羞恥心やプライバシーに配慮した援助が常にできるように、職員の意識統一を図っていききたい。			
58		○安眠や休息の支援	日中の活動を援助し、夜間の眠りにつながるよう意識して援助している。また、作業後や散歩後等は、お茶をすすめる等して、休憩の時間をとってもらっている。しかし、遠慮してか、他者のペースに合わせてようとされる方もいるため、ご自分のペースで生活していただけるように援助していききたい。	○	ご本人の言動を確認して、状態に応じて休憩できるようにこちらから声掛け等の援助をしていききたい。			
		一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	日中の活動を援助し、夜間の眠りにつながるよう意識して援助している。作業後や散歩後等は、お茶をすすめる等して、休憩の時間をとってもらっている。また、ご自分で休憩したい時には、居室で休まれている。	○	ご本人の言動を確認して、状態に応じて休憩できるようにこちらから声掛け等の援助をしていききたい。			
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援	生活歴や職歴から、ご本人がこだわって行っている作業や役割は、継続できるように援助している。役割活動は、習慣となっている方も多し。楽しみや気晴らしの援助については、できる限りご本人の希望を聞き個別の援助を行うよう努めているが、十分とは言えない。	○	生きがいや喜びを感じて過ごしてもらえるよう、個別の援助を強化していききたい。			
		張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や職歴から、ご本人がこだわって行っている作業や役割は、継続できるように援助している。役割活動は、習慣となっている方も多し。楽しみや気晴らしの援助については、できる限りご本人の希望を聞き個別の援助を行うよう努めているが、十分とは言えない。	○	生きがいや喜びを感じて過ごしてもらえるよう、個別の援助を強化していききたい。			
								利用者の培ってきた経験等を考慮し、農家の方は畑づくり、まかないをしていた方は料理など、潜在している「できる力」を利用者が生かせるよう役割や場面づくりを工夫している。 また、日常生活の中で畑づくりや調理へのこだわりを教えてもらったり、掃除や花の水やりなどの役割活動を継続化し、張り合いのある暮らしにつながっている。

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
60		職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持している方は、買い物時にご自分で支払いされたり、また、職員の付き添い援助のもとで支払いされたりしている。個人の能力に応じた援助を行っている。現在、お金を所持されていない方も、援助の仕方によっては、お金を使うことができないか能力の見極めを行っていききたい。	○	現在お金を所持されていない方に対して、新聞の集金や食材の買い物時に、お金の支払い能力がどの程度であるか見極めていききたい。そして、小額でもお金を所持できるように、ご家族とも相談していききたい。			
			お金を所持している方は、買い物時にご自分で支払いされたり、また、職員の付き添い援助のもとで支払いされたりしている。個人の能力に応じた援助を行っている。現在、お金を所持されていない方も、援助の仕方によっては、お金を使うことができないか能力の見極めを行っていききたい。	○	現在お金を所持されていない方に対して、新聞の集金や食材の買い物時に、お金の支払い能力がどの程度であるか見極めていききたい。そして、小額でもお金を所持できるように、ご家族とも相談していききたい。			
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩・買い物・畑作業等は、ご本人の希望に応じて日常的に援助している。しかし、個人によって偏りがある。	○	歩行状態が悪く、あまり外に出たがらない方もいらっしゃるため、負担にならないように、ドライブや日光浴等ができるように、個別の関わりをしていきたい。	利用者のADLや好みにもよるが、希望に応じて散歩コースや馴染みの公園、近くのスーパーなどに出かけて地域と交流しているほか、行事やドライブなどで遠方にも足を運んでいる。 また、外出が困難な方は2ユニットの特性を生かし、「隣りの家」に遊びに出かける感覚で交流できるよう支援し、戸外に出る機会をつくっている。		
			散歩・買い物・畑作業等は、ご本人の希望に応じて日常的に援助している。しかし、個人によって偏りがある。	○	歩行状態が悪く、あまり外に出たがらない方もいらっしゃるため、負担にならないように、ドライブや日光浴等ができるように、個別の関わりをしていきたい。			
62		一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	地域のお祭りや運動会、学校の行事、また、季節の花の観賞、温泉にでかける等、利用者さんの希望を聞きながら皆ででかけている。ご家族とは、お墓参りや買い物、食事等にでかけられたりしている。しかし、個別的な援助までは十分にできていない。	○	希望の確認が難しい方にも、馴染みの場所や思い出の場所等を確認し、でかけられるように援助していききたい。			
			地域のお祭りや運動会、学校の行事、また、季節の花の観賞、温泉にでかける等、利用者さんの希望を聞きながら皆ででかけている。ご家族とは、お墓参りや買い物、食事等にでかけられたりしている。しかし、個別的な援助までは十分にできていない。	○	希望の確認が難しい方にも、馴染みの場所や思い出の場所等を確認し、でかけられるように援助していききたい。			
63		家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話は希望により、かけることは自由である。個人の能力により、必要な援助を行っている。しかし、希望されない方もおり、個人によって偏りがある。手紙のやり取りはあまりないが、年賀状はご家族や知人に出せるように援助している。	○	ご本人から訴えがなくても、時折ご家族などに連絡をとりたいと思っていないか確認し、必要時援助していききたい。			
			電話は希望により、かけることは自由である。個人の能力により、必要な援助を行っている。しかし、希望されない方もおり、個人によって偏りがある。手紙のやり取りはあまりないが、年賀状はご家族や知人に出せるように援助している。	○	ご本人から訴えがなくても、時折ご家族などに連絡をとりたいと思っていないか確認し、必要時援助していききたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
64	○家族や馴染みの人の訪問支援	ご本人や面会の方が、一緒にゆっくりと過ごしていただけるように、居室にお茶の道具を用意したり、食事を一緒に摂っていただいたりと状況によって対応しているが、まだ、十分にできているとは言えない。	○	気軽に訪問していただけるような雰囲気作りやおもてなしが自然にできるように今後も接遇マナーの研修を継続していく。				
		ご本人や面会の方が、一緒にゆっくりと過ごしていただけるように、居室にお茶の道具を用意したり、食事を一緒に摂っていただいたりと状況によって対応しているが、まだ、十分にできているとは言えない。	○	気軽に訪問していただけるような雰囲気作りやおもてなしが自然にできるように今後も接遇マナーの研修を継続していく。				
(4) 安心と安全を支える支援								
65	○身体拘束をしないケアの実践	外部から講師を招き研修会を開催し、職員の意識統一を図っている。身体拘束の定義について、全職員が正しい知識を身につけ、身体拘束をしない介護に取り組んでいる。しかし、研修会やマニュアルの確認にて繰り返し職員に意識付けする取り組みが必要。	○	身体拘束の定義や知識を、全職員に定着させるため、研修会やマニュアルの確認を継続的に行っていきたい。				
		外部から講師を招き研修会を開催し、職員の意識統一を図っている。身体拘束の定義について、全職員が正しい知識を身につけ、身体拘束をしない介護に取り組んでいる。しかし、研修会やマニュアルの確認にて繰り返し職員に意識付けする取り組みが必要。	○	身体拘束の定義や知識を、全職員に定着させるため、研修会やマニュアルの確認を継続的に行っていきたい。				
26 66	○鍵をかけないケアの実践	安全確認のため、玄関にベルや鳥の鳴き声のセンサーを設置しているが、日中は玄関に鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。居室には鍵の設置はない。	○	鍵をかけることの弊害を理解して、現在の取り組みを継続していきたい。	日中は玄関に鍵をかけず自由な外出を可能にしており、居室にも鍵がなく、職員は見守りや声かけ方法を工夫・徹底し、連携しながら安全確保に努めている。 また、死角になる場所にはベルやセンサーを設置し、さり気なく安全を確認できるよう工夫している。 さらには、町内の総会や運営推進会議などで利用者の見守りに関して協力を依頼し、緊急連絡網にも地域の方が加わり実際に声をかけたり電話等で報告してくれる体制ができてくる。			
		安全確認のため、玄関にベルを設置しているが、日中は玄関に鍵をかけず、自由に出入りできるようになっている。居室には鍵の設置はない。	○	鍵をかけることの弊害を理解して、現在の取り組みを継続していきたい。				
67	○利用者の安全確認	日中は、職員間で連携をとり、居間兼食堂に職員の誰かがいるようにしている。共有スペース内での状態把握はできているが、職員がそれぞれ個別の対応を行っている場合は、他者に配慮が行き届かない場合もあり十分とは言えない。	○	さらに職員間での連携を徹底していく。				
		日中は、職員間で連携をとり、居間兼食堂に職員の誰かがいるようにしている。共有スペース内での状態把握はできているが、職員がそれぞれ個別の対応を行っている場合は、他者に配慮が行き届かない場合もあり十分とは言えない。	○	さらに職員間での連携を徹底していく。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
68		○注意の必要な物品の保管・管理	利用者さんの生活に必要な物は、自立支援を考え、必要な場所に必要な物を設置するように努めている。しかし、異食防止のため、洗剤や危険な物は、鍵のかかる場所で保管したり、ハンドソープ等日常的に使用するものはボトルのふたが開かないようにテープで止めたりと各場所で工夫している。	○	今後も、自立支援の援助と安全に生活できる援助の工夫を考えていきたい。			
		注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者さんの生活に必要な物は、自立支援を考え、必要な場所に必要な物を設置するように努めている。しかし、収集される方がおり、収集物の中に危険物や汚染物がないよう、環境整備や見守りを行っている。	○	今後も、自立支援の援助と安全に生活できる援助の工夫を考えていきたい。			
69		○事故防止のための取り組み	個々の心身の状態から、考えられるリスクを割り出し、事前に予防に努めるようにしている。また、ひやりはっと報告を小さな事でもあげ、情報の共有と未然に事故につながらないような取り組みを検討するようにしている。	○	リスクマネジメントについて知識を深め、事故を未然に防止していく取り組みを今後も行っていく。			
		転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々の心身の状態から、考えられるリスクを割り出し、事前に予防に努めるようにしている。また、ひやりはっと報告を小さな事でもあげ、情報の共有と未然に事故につながらないような取り組みを検討するようにしている。	○	リスクマネジメントについて知識を深め、事故を未然に防止していく取り組みを今後も行っていく。			
70		○急変や事故発生時の備え	消防署に依頼し、普通救命講習を受けている。また、採用時研修に急変時の対応を組み込んでいる。急変時や事故発生時に速やかに、また、適切に対応できるように、繰り返し訓練や研修を行う必要がある。	○	今後も定期的に訓練や研修の機会を作り、実際に行う場合には、速やかに適切に対応できるように職員教育していく。			
		利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	消防署に依頼し、普通救命講習を受けている。また、採用時研修に急変時の対応を組み込んでいる。急変時や事故発生時に速やかに、また、適切に対応できるように、繰り返し訓練や研修を行う必要がある。	○	今後も定期的に訓練や研修の機会を作り、実際に行う場合には、速やかに適切に対応できるように職員教育していく。			
27	71	○災害対策	避難訓練は定期的に開催している。運営推進会議などで、災害時の協力をお願いし、緊急連絡網に、ご近所の方も加わってくれている。避難訓練時も、参加を呼びかけているが、就業されている為に都合がつかず参加していただくのは、難しい。	○	折に触れ、ご近所の方には、災害時の協力や避難訓練へ参加いただけるように呼びかけていきたい。			
		火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は定期的に開催している。運営推進会議などで、災害時の協力をお願いし、緊急連絡網に、ご近所の方も加わってくれている。避難訓練時も、参加を呼びかけているが、就業されている為に都合がつかず参加していただくのは、難しい。	○	折に触れ、ご近所の方には、災害時の協力や避難訓練へ参加いただけるように呼びかけていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
		○リスク対応に関する家族等との話し合い 72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時には、環境の変化により起こり得るリスクについて説明している。また、アセスメントにより心身の状態から起こり得るリスクを割り出し、状態の変化に応じて対応策や予防策についてご家族と話し合いを行っている。 入居時には、環境の変化により起こり得るリスクについて説明している。また、アセスメントにより心身の状態から起こり得るリスクを割り出し、状態の変化に応じて対応策や予防策についてご家族と話し合いを行っている。	○ ○	リスクに対して、必要以上に制限することなく対応策や予防策を講じ、安心・安全に生活していただけるように今後も工夫していきたい。 リスクに対して、必要以上に制限することなく対応策や予防策を講じ、安心・安全に生活していただけるように今後も工夫していきたい。			
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
		○体調変化の早期発見と対応 73 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	個人の病歴の把握や、高齢者のなりやすい病気とその症状、バイタル等については採用時研修や随時カンファレンスを開催し、早期発見につながるよう取り組んでいる。しかし、適切に訴えができず痛みの強弱や部位の確認が難しい場合もあるため、医師や看護師と連携し対応している。 個人の病歴の把握や、高齢者のなりやすい病気とその症状、バイタル等については採用時研修や随時カンファレンスを開催し、早期発見につながるよう取り組んでいる。しかし、適切に訴えができず痛みの強弱や部位の確認が難しい場合もあるため、医師や看護師と連携し対応している。	○ ○	認知症の方の場合、病状の把握が難しい場合もあるため、言動観察の強化と、医師や看護師との連携を今後も強化していきたい。また、異常を異常と判断できる知識の向上に努めていきたい。 認知症の方の場合、病状の把握が難しい場合もあるため、言動観察の強化と、医師や看護師との連携を今後も強化していきたい。また、異常を異常と判断できる知識の向上に努めていきたい。			
		○服薬支援 74 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師や薬剤師と連携を図り、服薬支援できるように努めている。連携薬剤師を招き、薬についての研修会を開催している。一包化や投薬カレンダーを利用し、飲み忘れや投薬ミスがないよう管理している。用法・用量・副作用の可能性等、薬について職員が確認できるように個々人の情報をファイリングしているが、全職員が熟知しているとは言い切れない。 医師や薬剤師と連携を図り、服薬支援できるように努めている。連携薬剤師を招き、薬についての研修会を開催している。一包化や投薬カレンダーを利用し、飲み忘れや投薬ミスがないよう管理している。用法・用量・副作用の可能性等、薬について職員が確認できるように個々人の情報をファイリングしているが、全職員が熟知しているとは言い切れない。	○ ○	薬について職員の知識の向上と、医師や薬剤師との連携を強化していきたい。 薬について職員の知識の向上と、医師や薬剤師との連携を強化していきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	一般的な便秘の原因とその影響については、研修会を開催し、職員教育している。個人によって便秘の原因は、多様であり必要な援助ができるようアセスメントしている。適度な運動・食べ物の工夫等、予防的な関わりや、下剤や整腸剤の調整援助を行っているが、便秘傾向の方もいるため今後も検討が必要である。	○	個人に合わせた援助ができるように、原因の把握と予防に努めていきたい。また、職員の知識の向上に努めていきたい。				
		一般的な便秘の原因とその影響については、研修会を開催し、職員教育している。個人によって便秘の原因は、多様であり必要な援助ができるようアセスメントしている。適度な運動・食べ物の工夫等、予防的な関わりや、下剤や整腸剤の調整援助を行っているが、便秘傾向の方もいるため今後も検討が必要である。	○	個人に合わせた援助ができるように、原因の把握と予防に努めていきたい。また、職員の知識の向上に努めていきたい。				
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	以前は、嫌がる方もいたが、現在は毎食後の歯磨きやうがいが習慣的に定着しており、個人の状態に合わせた援助ができています。しかし、口腔内トラブルの観察のポイント等は、全職員が理解できているとは限らないため、歯科衛生士の資格を持つ職員に指導してもらいながら一定の知識を身につけていきたい。	○	口腔ケアの必要性について、職員の意識統一が図れるよう、研修会やOJTを行っていきたい。				
		寝る前の口腔ケアは、ほぼ全員に行えている。しかし、毎食後のケアについては、嫌がられる方もおり、全員に対しては行えていない。口腔内トラブルの観察のポイント等を、全職員が理解できているとは限らないため、歯科衛生士の資格を持つ職員に指導してもらいながら一定の知識を身につけていきたい。	○	口腔ケアの必要性について、職員の意識統一が図れるよう、研修会やOJTを行っていきたい。				
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量や水分摂取量の把握はしている。おおよその目安として個別に水分摂取必要量を計算し、一日を通じて必要量が摂取できるように取組んでいる。栄養バランスについては、なるべく多くの食材を使用するように心がけているが、計算して提供しているわけではない為、十分であるかは疑問である。	○	摂取量が少ない方への工夫やバランスの良い食事の提供ができるように、メニューの見直しも随時行ってきたい。	○	栄養チェック表に食事や水分摂取量を記録し、一人ひとりに合った支援の基礎としている。また、できる限り多くの食材を使用して栄養バランスの偏りや低下に努めるなど、職員が工夫しながら様々な面から支援している。	
			食事摂取量や水分摂取量の把握はしている。おおよその目安として個別に水分摂取必要量を計算し、一日を通じて必要量が摂取できるように取組んでいる。栄養バランスについては、なるべく多くの食材を使用するように心がけているが、計算して提供しているわけではない為、十分であるかは疑問である。	○	摂取量が少ない方への工夫やバランスの良い食事の提供ができるように、メニューの見直しも随時行ってきたい。			職員に栄養士がいることから、栄養バランスが適正かどうかを把握するため、半年毎に献立をチェックしてもらうなど、専門家による助言を得ながら献立に反映させてほしい。

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り組みがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染予防委員会があり、予防や対応のマニュアルがある。採用時研修にも組み込んでいる。また、ノロウイルスやインフルエンザについては流行時期前に毎年研修会を開催し、職員の意識統一を図っている。利用者さん・職員・来客者の手洗いうがいを励行している。しかし、全職員が熟知しているとはいえない。	○	マニュアルの徹底と、流行時期を確認し、予防を強化していきたい。				
		感染予防委員会があり、予防や対応のマニュアルがある。採用時研修にも組み込んでいる。また、ノロウイルスやインフルエンザについては流行時期前に毎年研修会を開催し、職員の意識統一を図っている。利用者さん・職員・来客者の手洗いうがいを励行している。しかし、全職員が熟知しているとはいえない。	○	マニュアルの徹底と、流行時期を確認し、予防を強化していきたい。				
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	各係りが責任を持ち衛生管理マニュアルを作成し、マニュアルに沿って調理用具や食器等の衛生管理を行っている。食材は、できる限り国産品を使用し、安全に安心して食べていただけるように努力している。	○	今後も、調理用具・食器消毒の徹底が行えるようにマニュアルの見直しや作成を必要時行っていく。情報収集に努め、安全な食材を提供できるように努めていきたい。				
		各係りが責任を持ち衛生管理マニュアルを作成し、マニュアルに沿って調理用具や食器等の衛生管理を行っている。食材は、できる限り国産品を使用し、安全に安心して食べていただけるように努力している。	○	今後も、調理用具・食器消毒の徹底が行えるようにマニュアルの見直しや作成を必要時行っていく。情報収集に努め、安全な食材を提供できるように努めていきたい。				
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり								
(1) 居心地のよい環境づくり								
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	花壇やプランターに植物を植え玄関廻りの環境には配慮している。建物の立地上、駐車場が玄関の前にあり威圧感を与えている可能性あり。	○	今後も、玄関まわりをお花で飾る等、温かみのあるイメージとなるように努めていきたい。				
		花壇やプランターに植物を植え玄関廻りの環境には配慮している。建物の立地上、駐車場が玄関の前にあり威圧感を与えている可能性あり。	○	今後も、玄関まわりをお花で飾る等、温かみのあるイメージとなるように努めていきたい。				
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な雰囲気になるように、季節感のある物や利用者さんに馴染みのある物を用意するようにしている。日射しや照明の調整、温度・湿度調整、換気等、利用者さんが心地良く生活できるように意識して行うようにしている。環境についての勉強会を開催し、意識統一を図っているが、認識がまだ薄い職員もおり十分とは言えない。	○	職員が出す音や声についても、利用者さんを不快にさせるようなことがないようにOJTしていく。	利用者が長い時間を過ごす共用空間にはテーブルや長いす、ソファなどがあり、生活感のある自然で落ち着いた雰囲気、玄関やホールには季節の花や趣味で作った布ぞうりなどを飾っている。 また、トイレの暖簾の位置を利用者が引っ張らないよう使い勝手よく工夫しており、気になる臭いや音もなく快適で居心地の良い環境となっている。			
		家庭的な雰囲気になるように、季節感のある物や利用者さんに馴染みのある物を用意するようにしている。日射しや照明の調整、温度・湿度調整、換気等、利用者さんが心地良く生活できるように意識して行うようにしている。環境についての勉強会を開催し、意識統一を図っているが、認識がまだ薄い職員もおり十分とは言えない。	○	職員が出す音や声についても、利用者さんを不快にさせるようなことがないようにOJTしていく。				

外部評価	自己評価	項目	自己評価（上段:1ユニット 下段:2ユニット）			外部評価		
			取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）	取り組みの事実 （実施している内容・実施していない内容）	○印 （取り組みを期待したい項目）	取り組みを期待したい内容 （すでに取組んでいることも含む）
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり	廊下・玄関・窓際・ベランダに椅子を設置し、独りでのんびり過ごしたり、気の合う方同士で会話ができるようにしている。しかし、構造上、共有空間がオープンスペースであり、他者の目を気にせずに一人になれる空間が少ない為、十分とは言えない。	○	オープンスペースの中にも、気の合うもの同士で過ごせるスペースや一人になれる空間を作れるように、椅子やソファの位置や向き等を今後も検討していきたい。			
		共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下・玄関・窓際・ベランダに椅子を設置し、独りでのんびり過ごしたり、気の合う方同士で会話ができるようにしている。しかし、構造上、共有空間がオープンスペースであり、他者の目を気にせずに一人になれる空間が少ない為、十分とは言えない。	○	オープンスペースの中にも、気の合うもの同士で過ごせるスペースや一人になれる空間を作れるように、椅子やソファの位置や向き等を今後も検討していきたい。			
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮	使い慣れたものや好みのもの、ご本人のこだわりがあって使用しているもの等を持ってきていただけるよう、必要性を説明しながらお願いしている。できる限りご自宅と同じような配置にしてもらう等の工夫もしている。しかし、居室のサイズが違うことから使いなれた物を運べない場合があったり、居室内が殺風景な方もおり、個人差がある。	○	ご本人が居心地良く過ごせるように、今後もご家族と協力しながら環境を整えていきたい。	居室は全体的にシンプルだが、利用者の好みに応じてレイアウトを変更したり、壁に歌手のポスターを貼るなど、その方に合った居室づくりを支援している。 また、利用者の意向を確認しながら、布団で寝たいという方には畳を敷くなど、できる限り今までの生活スタイルを変えずに生活できるよう配慮している。		
		居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れたものや好みのもの、ご本人のこだわりがあって使用しているもの等を持ってきていただけるよう、必要性を説明しながらお願いしている。できる限りご自宅と同じような配置にしてもらう等の工夫もしている。壁に好きな歌手のポスターを飾ったりされている方もいる。しかし、居室のサイズが違うことから使いなれた物を運べない場合があったり、居室内が殺風景な方もおり、個人差がある。	○	ご本人が居心地良く過ごせるように、今後もご家族と協力しながら環境を整えていきたい。			
84		○換気・空調の配慮	1日に6回定時に、温度・室温を確認している。利用者さんからの訴えを聞きながら、こまめに冷暖房の調整や換気を行うようにしている。環境についての勉強会を開催し、意識統一を図っているが、十分にできているとは言えない。	○	利用者さんによって感じ方が違ったりするため、衣類で調整するなどの援助もしながら、館内の温度調節をしていきたい。			
		気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	定時に、温度・室温を確認している。利用者さんからの訴えを聞きながら、こまめに冷暖房の調整や換気を行うようにしている。環境についての勉強会を開催し、意識統一を図っているが、十分にできているとは言えない。	○	利用者さんによって感じ方が違ったりするため、衣類で調整するなどの援助もしながら、館内の温度調節をしていきたい。			

外部評価	自己評価	項目	自己評価 (上段:1ユニット 下段:2ユニット)			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	館内は玄関と浴槽以外は段差はないが、利用者さんの身体機能に応じて手すりを新しく設置するなどしている。しかし、浴槽の大きさや深さ等、使い勝手の悪い箇所もある。補助具の使用やマンパワーで補っているが、利用者さんによってはまだ十分ではない部分もある。	○	開設から4年が経過し、利用者さんの身体状況も変化しているため、状態に応じて必要な設備の工夫や設置を検討していきたい。				
		館内は玄関と浴槽以外は段差はないが、利用者さんの身体機能に応じて手すりを新しく設置するなどしている。しかし、浴槽の大きさや深さ等、使い勝手の悪い箇所もある。補助具の使用やマンパワーで補っているが、利用者さんによってはまだ十分ではない部分もある。	○	開設から4年が経過し、利用者さんの身体状況も変化しているため、状態に応じて必要な設備の工夫や設置を検討していきたい。				
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	アセスメントし「できる事・できない事・できそうな事」を把握して、個人に合わせて必要な援助が提供できるように援助している。能力を引き出し、また、能力を維持でき、できるかぎり自立した生活が送れるように努めている。	○	今後も、能力の引き出し方や能力に応じた関わりについて、職員のレベルアップを図っていきたい。				
		アセスメントし「できる事・できない事・できそうな事」を把握して、個人に合わせて必要な援助が提供できるように援助している。能力を引き出し、また、能力を維持でき、できるかぎり自立した生活が送れるように努めている。	○	今後も、能力の引き出し方や能力に応じた関わりについて、職員のレベルアップを図っていきたい。				
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	プランターや畑作りをしている。ベランダから畑を眺める事ができ、水やりや草取り、収穫などを利用者さんに教えていただきながら職員も一緒に行っている。また、ベランダには物干し竿もあり、できり方には洗濯物を干してもらっている。身体機能的に畑での作業が難しい方でも、ベランダにて日光浴をしたり植物を植えていただいたりしている。	○	今後も利用者さんの楽しみや役割を援助できるように、戸外の環境整備や道具の設置など工夫していきたい。				
		プランターや畑作りをしている。水やりや草取り、収穫などを利用者さんに教えていただきながら職員も一緒に行っている。また、ベランダには物干し竿もあり、できり方には洗濯物を干してもらっている。ベランダや玄関先にて日光浴やお茶を楽しんでもらっている。	○	今後も利用者さんの楽しみや役割を援助できるように、戸外の環境整備や道具の設置など工夫していきたい。				

※ は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと) ①：1ユニット(すまいる館) ②：2ユニット(ほほえみ館)	
V. サービスの成果に関する項目		①	②
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	○
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	○
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	○
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	○
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	○
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	○
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	○
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	○
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	○
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	○
98	職員は、生き活きと働いている	○	○
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	○
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	○

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

【すまいる館】
 *地域との関わり
 利用者さんが地域の一員として、地域と関わりあいを持ち、地域の中で安心して楽しく生活できるような取り組みに力を入れている。一軒の家として、町内会に入会し違和感なく地域に溶け込めるように、地域行事への積極的な参加や行事準備への職員参加、また、利用者さんと共に町内のゴミ拾いをしたり、町内児童館の鍵を事業所で管理させて頂きさせていただいている。地域の幼稚園・小中学校との関わりも大事にしている。
 *能力維持・向上と能力の引き出し
 能力維持・向上ができるように、また、潜在能力を引き出せるように、十分なアセスメントを実施するよう取り組んでいる。アセスメントの仕方も再度検討中であり、センター方式を導入しながら、その方の思いを汲み取るように職員は学習中である。まだ、十分とは言えないが、個人にあわせ必要な援助や館内外の各箇所に作業や役割活動のきっかけとなるような用具を設置するなどしている。
 *職員教育
 新人職員に対しては、採用時研修やプリセプター制度により継続的に教育するシステムを構築している。また、年間の社内研修予定に基づいて、社内職員が講師となり月に2回社内研修を開催している。ときには、社外から専門職の講師を招き専門的知識の習得に努めている。また、外部の研修にも積極的に参加するようにしている。
 *利用者さん同士の会議開催
 これまでは行事の計画や準備を、職員が行っていたが利用者さん本位の計画となるように、利用者さん同士で話し合いをして決めていただいている。また、行事計画ばかりではなく、日々のケアや暮らし方についての要望等も、皆さんで話し合っただき意見を反映できるように取り組んでいる。

【ほほえみ館】
 *地域との関わり
 利用者さんが地域の一員として、地域と関わりあいを持ち、地域の中で安心して楽しく生活できるような取り組みに力を入れている。一軒の家として、町内会に入会し違和感なく地域に溶け込めるように、地域行事への積極的な参加や行事準備への職員参加、また、利用者さんと共に町内のゴミ拾いをしたり、町内児童館の鍵を事業所で管理させて頂きさせていただいている。地域の幼稚園・小中学校との関わりも大事にしている。
 *能力維持・向上と能力の引き出し
 能力維持・向上ができるように、また、潜在能力を引き出せるように、十分なアセスメントを実施するよう取り組んでいる。アセスメントの仕方も再度検討中であり、センター方式を導入しながら、その方の思いを汲み取るように職員は学習中である。まだ、十分とは言えないが、個人にあわせ必要な援助や館内外の各箇所に作業や役割活動のきっかけとなるような用具を設置するなどしている。
 *職員教育
 新人職員に対しては、採用時研修やプリセプター制度により継続的に教育するシステムを構築している。また、年間の社内研修予定に基づいて、社内職員が講師となり月に2回社内研修を開催している。ときには、社外から専門職の講師を招き専門的知識の習得に努めている。また、外部の研修へ積極的に参加するようにしている。